第10号様式の２（第７条の２関係）

地域医療支援病院業務報告書

令和 6年 9月 27日

沖縄県知事　殿

開設者
住　所　〒905-0009　沖縄県名護市字宇茂佐の森五丁目２
北部
氏　名　公益社団法人 北部地区医師会　　石川　清和

標記について、医療法施行規則第9条の2の規定に基づき、令和5年（2023年）度の業務に関して報告します。

記

1　名　称

公益社団法人　北部地区医師会　北部地区医師会病院

2　所在地

〒905-8611　沖縄県名護市字宇茂佐1712-3

3　病床数

精　神	感染症	結　核	療　養	一　般	合　計
0床	0床	0床	0床	236床	236床

4　施設の構造設備

施設名	設　備　概　要
集中治療室	（主な設備）人工呼吸器　除細動器、呼吸心拍監視装置　輸液ポンプ　シリンジポンプ　気管内視鏡　救急蘇生装置一式　ＡＣＴ測定器　血液ガス測定装置 病床数 6床
化学検査室	（主な設備）　免疫分析装置　顕微鏡　恒温槽　遠心機　尿定成分分析装置　自動血球計算装置　網状赤血球測定装置　凝固測定装置　赤沈測定装置　生化学分析装置　ヘモグロビンA1c測定装置　血液ガス分析装置　ミキサー　血中アンモニア測定装置　血中薬物測定装置　検体検査システム　全自動輸血検査装置
細菌検査室	（主な設備）　孵卵器　オートクレイブ滅菌器　顕微鏡　ミキサー　全自動同定・感受性システム　血液培養装置　細菌報告書管理パソコン　トキシノメーター　ＰＣＲ検査装置　安全キャビネット　病原体検査用陰圧BOX
病理検査室	（主な設備）　顕微鏡　デジタルカメラ　パラフィン伸展機　孵卵器　パラフィン包埋装置　ミクロトーム　クリオスタット　ラミナーテーブル　密閉式固定包埋装置
病理解剖室	（主な設備）　解剖室　解剖台
研究室	病棟カンファレンスルーム、教育・シミュレーション室 （主な設備）医療用ベッド　電子カルテ　フィジカルアセスメントモデルphysiko　ＡＥＤリトルアン　ＡＥＤトレーナー　静脈注射パット　装着式採血静脈キット　SASUKE　ＡＬＳ・挿管・吸引・経管栄養・褥瘡ケア・口腔ケアシミュレーター　メトローム　プロジェクター　スクリーン　おむつ交換トレーニングモデル

1258
収
-6.9.27
受
北部保健所

施設名	設　　備　　概　　要
講義室	室数　2 室（本館2階会議室、循環器棟2階会議室）　収容定員　100 人
図書室	室数　2 室　　蔵書数　1,584 冊
救急用又は患者搬送用自動車	救急用又は患者搬送用自動車　　保有台数　1 台 （主な設備）　パルスオキシメーター　心電図モニター　除細動器　輸液ポンプ シリンジポンプ　酸素ボンベ　ポータブル吸引器　ストレッチャー
医薬品情報管理室	[専用室の場合]　　床面積　6 ㎡ [共用室の場合]　　室と共用（床面積　　㎡）

注１　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

注２　前回報告後、施設の構造設備の変更あれば、当該施設に係る建物の平面図を添付し、その施設を朱書き等により明示すること。

5　紹介患者への医療提供及び他院への患者紹介の実績

地域医療支援病院紹介率	81.9%	算定期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	101.5%		
算出根拠	A：紹介患者の数		4,766人
	B：初診患者の数		5,822人
	C：逆紹介患者の数		5,908人

注１「地域医療支援病院紹介率」欄は、ＡをＢで除した数に100を乗じて、小数点以下第１位まで記入すること。

注２「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、ＣをＢで除した数に100を乗じて、小数点以下第１位まで記入すること。

注３　それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

6　共同利用の実績（別紙第１）

7　救急医療の提供の実績

(1)　重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職　種	氏　　名	勤務の態様	勤務時間	備　　考
1	医師	[redacted]	常勤　非専従	8：30～17：30	病院長
2	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	副院長、内科部長
3	医師		常勤　専従	8：30～17：30	救急科長
4	医師		常勤　専従	8：30～17：30	救急科
5	医師		非常勤　専従	8：30～17：30	救急科
6	医師		非常勤　専従	8：30～17：30	救急科
7	医師		非常勤　専従	8：30～17：30	救急科
8	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	内科　消化器科長
9	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	内科
10	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	内視鏡センター長
11	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	内科
12	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	内科
13	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	内科
14	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	呼吸器・感染症科長
15	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	呼吸器・感染症科
16	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	呼吸器・感染症科
17	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	呼吸器・感染症科 （R5. 10. 1より）
18	医師		非常勤　非専従	19：30～翌8：30	内科（琉大病院応援）
19	医師		非常勤　非専従	19：30～翌8：30	内科（琉大病院応援）
20	医師		非常勤　非専従	19：30～翌8：30	内科（琉大病院応援）
21	医師		非常勤　非専従	19：30～翌8：30	内科（琉大病院応援）
22	医師		非常勤　非専従	19：30～翌8：30	内科（琉大病院応援）
23	医師		非常勤　非専従	19：30～翌8：30	内科（琉大病院応援）
24	医師		非常勤　非専従	19：30～翌8：30	内科（琉大病院応援）
25	医師		非常勤　非専従	19：30～翌8：30	内科（琉大病院応援）
26	医師		非常勤　非専従	19：30～翌8：30	内科（琉大病院応援）
27	医師		非常勤　非専従	19：30～翌8：30	内科（琉大病院応援）
28	医師		非常勤　非専従	19：30～翌8：30	内科（琉大病院応援）
29	医師		非常勤　非専従	19：30～翌8：30	内科（琉大病院応援）
30	医師		非常勤　非専従	19：30～翌8：30	内科（琉大病院応援）
31	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	循環器内科科長
32	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	循環器内科
33	医師		非常勤　非専従	14：00～翌8：30	循環器内科（応援医師）
34	医師		非常勤　非専従	14：00～翌8：30	循環器内科（応援医師）
35	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	心臓血管外科科長
36	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	心臓血管外科

No.	職　種	氏　　名	勤務の態様	勤務時間	備　　考
37	医師	[redacted]	常勤　非専従	8：30～17：30	副院長、外科部長
38	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	外科科長
39	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	大腸肛門科科長
40	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	外科
41	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	外科
42	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	外科
43	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	外科
44	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	外科
45	医師		非常勤　非専従	12：30～翌8：30	外科（琉大病院応援）
46	医師		非常勤　非専従	12：30～翌8：30	外科（琉大病院応援）
47	医師		非常勤　非専従	12：30～翌8：30	外科（琉大病院応援）
48	医師		非常勤　非専従	12：30～翌8：30	外科（琉大病院応援）
49	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	整形外科科長
50	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	脊椎外科科長
51	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	整形外科
52	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	整形外科
53	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	リウマチ科長
54	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	皮膚科
55	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ室長
56	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	麻酔科科長
57	医師		非常勤　非専従	8：30～17：30	麻酔科（琉大病院応援）
58	医師		非常勤　非専従	8：30～17：30	麻酔科（琉大病院応援）
59	医師		非常勤　非専従	8：30～17：30	麻酔科（琉大病院応援）
60	医師		非常勤　非専従	8：30～17：30	麻酔科（琉大病院応援）
61	医師		非常勤　非専従	8：30～17：30	麻酔科（琉大病院応援）
62	医師		非常勤　非専従	8：30～17：30	麻酔科（琉大病院応援）
63	医師		非常勤　非専従	8：30～17：30	麻酔科（琉大病院応援）
64	医師		非常勤　非専従	8：30～17：30	麻酔科（琉大病院応援）
65	医師		非常勤　非専従	8：30～17：30	麻酔科（琉大病院応援）
66	医師		非常勤　非専従	8：30～17：30	麻酔科（琉大病院応援）
67	医師		非常勤　非専従	8：30～17：30	麻酔科（琉大病院応援）
68	医師		非常勤　非専従	8：30～17：30	麻酔科（琉大病院応援）
69	医師		非常勤　非専従	8：30～17：30	麻酔科（琉大病院応援）
70	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科科長
71	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	検査科科長
72	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床研修医2年
73	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床研修医2年
74	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床研修医1年

No	職　種	氏　　名	勤務の態様	勤務時間	備　　考
75	医師	[redacted]	常勤　非専従	8：30～17：30	臨床研修医1年 （R5. 9. 1より）
76	医師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床研修医1年 （R5. 11. 1より）
77	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来師長
78	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来主任
79	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来主任補佐
80	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
81	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
82	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
83	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
84	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
85	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
86	看護部		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
87	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
88	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
89	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
90	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
91	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
92	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
93	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
94	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
95	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
96	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
97	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
98	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
99	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
100	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
101	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
102	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
103	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
104	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
105	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
106	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
107	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
108	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
109	救急救命士		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
110	救急救命士		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
111	救急救命士		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来

No	職　種	氏　　名	勤務の態様	勤務時間	備　　考
112	救急救命士	[redacted]	常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
113	救急救命士		常勤　非専従	8：30～17：30	ＨＣＵ・救急外来
114	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室　師長
115	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室　主任補佐
116	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室　主任補佐
117	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室　主任補佐
118	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
119	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
120	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
121	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
122	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
123	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
124	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
125	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
126	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
127	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
128	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
129	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
130	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
131	看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
132	准看護師		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
133	ナースエイド		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
134	ナースエイド		常勤　非専従	8：30～17：30	手術室
135	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線室　室長
136	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
137	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
138	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
139	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
140	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
141	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
142	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
143	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
144	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
145	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
146	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
147	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
148	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
149	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科

No	職　種	氏　　名	勤務の態様	勤務時間	備　　考
150	放射線技師	[redacted]	常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
151	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
152	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
153	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
154	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
155	放射線技師		常勤　非専従	8：30～17：30	放射線科
156	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	生理検査室　室長
157	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	生理検査室　主任
158	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	生理検査室
159	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	生理検査室
160	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	生理検査室
161	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	生理検査室
162	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	生理検査室
163	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	生理検査室
164	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	生理検査室
165	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	生理検査室
166	臨床検査技師		非常勤　非専従	8：30～17：30	生理検査室
167	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床検査室　室長
168	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床検査室　副室長
169	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床検査室
170	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床検査室
171	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床検査室
172	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床検査室
173	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床検査室
174	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床検査室
175	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床検査室
176	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床検査室
177	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床検査室
178	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床検査室
179	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床検査室
180	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床検査室
181	臨床検査技師		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床検査室
182	臨床検査技師		非常勤　非専従	8：30～17：30	臨床検査室
183	臨床工学技士		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床工学室　室長
184	臨床工学技士		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床工学室　主任
185	臨床工学技士		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床工学室　主任補佐
186	臨床工学技士		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床工学室　主任補佐
187	臨床工学技士		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床工学室　主任

No	職　種	氏　　名	勤務の態様	勤務時間	備　　考
188	臨床工学技士	[redacted]	常勤　非専従	8：30～17：30	臨床工学室
189	臨床工学技士		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床工学室
190	臨床工学技士		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床工学室
191	臨床工学技士		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床工学室
192	臨床工学技士		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床工学室
193	臨床工学技士		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床工学室
194	臨床工学技士		常勤　非専従	8：30～17：30	臨床工学室
195	薬剤師		常勤　非専従	8：30～17：30	薬局長
196	薬剤師		常勤　非専従	8：30～17：30	服薬局長
197	薬剤師		常勤　非専従	8：30～17：30	薬局　主任
198	薬剤師		常勤　非専従	8：30～17：30	薬局　主任
199	薬剤師		常勤　非専従	8：30～17：30	薬局
200	薬剤師		常勤　非専従	8：30～17：30	薬局
201	薬剤師		常勤　非専従	8：30～17：30	薬局
202	薬剤師		常勤　非専従	8：30～17：30	薬局
203	薬剤師		常勤　非専従	8：30～17：30	薬局
204	薬剤師		常勤　非専従	8：30～17：30	薬局
205	薬剤師		常勤　非専従	8：30～17：30	薬局
206	薬剤師		常勤　非専従	8：30～17：30	薬局
207	薬剤師		常勤　非専従	8：30～17：30	薬局

※休日・夜間帯においては、医師3名、他スタッフ現場配置による当直/オンコール体制

(2)　重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	10 床
専用病床	床

注　一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

(3) 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来	151㎡	（主な設備） 心電図モニター　除細動器　輸液ポンプ シリンジポンプ　心臓超音波診断装置　等	可
経過観察室	59㎡	（主な設備）　観察ベッド　　7床	可
ＣＴ撮影室	本院23.4㎡ 循環器棟42.3㎡	（主な設備） コンピューター断層撮影装置（64列、80列）	可
カテーテル室 （循環器棟）	66.7㎡	（主な設備） 血管造影診断装置	可
ＭＲＩ撮影室 （本院）	47.8㎡	（主な設備）　（テスラ1.5） 磁気共鳴コンピューター断層撮影装置	可
臨床検査室	386.7㎡	（主な設備）心電計　超音波診断装置 緊急検体検査（「4 施設の構造設備」 化学・細菌・病理検査室を参照）	可
内視鏡センター	83.4㎡	（主な設備）高周波手術装置VIO200S・APC2　高周波焼灼電源装置　高輝度光源装置　高解度LCDﾓﾆﾀｰ　ﾋﾞﾃﾞｵｼｽﾃﾑｾﾝﾀｰ　上部消化管汎用ﾋﾞﾃﾞｵｽｺｰﾌﾟ（経鼻・経口）　内視鏡用超音波装置　等	可
手術室	本院144㎡ 循環器棟118.6㎡	（主な設備）無影灯　手術台　麻酔器 内視鏡手術システム　電気メス　人工心肺装置 IABP PCPS 除細動器 ペースメーカー　等	可

(4) 備　考

・救急病院を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づく救急告示病院である。
・平成14年より内科・外科・整形外科の24時間の1～2次救急医療を行っている。
・令和元年8月1日に（旧）北部地区医師会附属病院と統合したことにより、循環器内科・心臓血管外科の24時間の1～2次救急医療を行っている。
・令和5年度においても、院内にて患者、職員に新型コロナウイルス感染（COVID-19）が確認されたため当該病棟の入退院の制限を図った。

注　特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

(5) 救急患者の数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	3,013人 (1,322人)
上記以外の救急患者の数	4,439人 (1,052人)
合計	7,452人 (2,374人)

注　それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。
　　括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

(6) 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1 台

8　地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績（別紙第２）

9　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法（別紙第３）

10　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績（別紙第４）

11　委員会開催の実績（別紙第５）

12　患者相談の実績（別紙第６）

13　その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）（別紙第７）

（別紙第１）

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）の実績

1　共同利用の実績

共同利用を行なった医療機関の延べ数：　973
開設者と直接関係のない医療機関の延べ数：　937
共同利用に関わる病床利用率：　103.7%

注　前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

ＣＴ検査（全身用コンピューター断層撮影装置）、ＭＲＩ検査（磁気共鳴コンピューター断層撮影装置）エックス線造影検査、乳癌撮影装置（マンモグラフィー）、超音波検査、胃・大腸内視鏡検査、骨塩測定検査、手術室、会議室、図書室、開放型病床

注　当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用を行ったものを明記すること。

3　共同利用の体制

(1)　共同利用に関する規定の有無　　有

(2)　共同利用医師等登録制度の担当者　氏　名：[redacted]

職　種：　連携課

注　共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。（別紙第8参照）

4　登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住　　所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
アイクリニック敬愛	新嵩　哲夫	名護市宮里6-4-21	眼	無
赤嶺内科	赤嶺　勝成	名護市大北1-5-11	内・呼・消・胃・透折	無
新垣耳鼻咽喉科	新垣　義孝	名護市宮里453-7	耳鼻咽喉	無
伊江村立診療所	阿部　好弘	伊江村字東江前459	内・外・消・整・救	無
伊差川整形外科	小禄　尚	名護市字伊差川309-1番地	整・リハビリ	無
うりずん診療所	比嘉　良博	名護市為又69	内・児・整・皮・リウマチ・リハビリ	無
運天産婦人科医院	運天　啓一	名護市大中3-1-5	産・婦	無
なんくる内科	新里　譲	名護市字真喜屋311	内科・循内	無

医療機関名	開設者名	住　　所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
大兼久医院	奥濱　真輔	名護市城1-1-13	内・小児	無
大北内科・胃腸科クリニック	上地　博之	名護市大北3-1-48	内・胃・消	有
おくまクリニック	奥間　裕次	金武町金武4790-1	内・小児・外・整・禁煙外来	無
おおにし医院	大西　弘之	名護市城2-10-16	内・消	無
大宮医院	知念　義和	名護市宮里3-1-20	内・小児・外・肛・胃・整・泌	無
恩納クリニック	玉城　徳光	恩納村恩納6329	内・小児・循・胃・呼・消	無
かじまやリゾートクリニック	鍛　司	名護市宮里518-2	内・児・外・婦・リハビリ	無
儀保小児科・内科医院	儀保　隆男	名護市大西2-4-32	内・小児	無
きんクリニック	高良　和代	金武町金武94	内・小児・皮	無
名護市 久志診療所	池間　意和	名護市三原64-7	内・循	無
国頭村立診療所	諫山　義人	国頭村辺士名1437	内・小児・消・糖	無
さくら眼科	友寄　一	名護市伊差川310-1	眼	無
スポーク・クリニック	大嶺　啓	名護市字屋部117	内・整・リハビリ	無
たいようのクリニック	宮平　健	名護市大西3-15-1	糖・透析・腎内リウマチ	無
中央外科	名嘉眞　透	名護市城1-1-12	内・外・整・消	無
辻眼科	辻　健一	名護市宮里1-26-11	眼	無
なかち泌尿器科クリニック	仲地　研吾	名護市大中5-4-50	内・外・皮・泌	無
名嘉真皮膚科	名嘉真　武司	名護市大東1-10-13	皮	無
今帰仁診療所	石川　清和	今帰仁村謝名139	内・小児・呼・外・整・眼・耳咽	無
名護皮ふ科	金城　浩邦	名護市大北1-2-34	皮	無

医療機関名	開設者名	住　　所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
ひだか脳神経外科	日高　俊彦	名護市字宇茂佐1746-6	内・外・整・脳外・リハビリ・放・神内	無
平安山医院	平安山　英機	名護市宇茂佐1702-1	内・小児・透折	無
北部皮フ科クリニック	宮城　恒雄	名護市大北3-9-7	皮	無
みみ・はな・のど ゆいクリニック	金沢　景保	名護市大北5-22-25	耳鼻咽喉	無
名護市 屋我地診療所	小野寺　隆	名護市饒平名460-1	内・小児	無
やまだクリニック	山田　護	本部町字大浜874-15	内・小児・外・消・整・泌	無
やんばる協同クリニック	島津　光邦	名護市大北5-3-2	内	無
ゆうクリニック	上原　忠司	名護市宇茂佐の森1-1-5	内・外・小児	無
あき内科クリニック	平野　亜紀	名護市宇茂佐919-7 1F	内・リウマチ・腎内	無
たいら内科クリニック	平良　直也	名護市宮里6-8-7	内・血内・リウマチ	無
ちはる眼科	上門　千時	名護市字宮里6-8-7	眼	無
北部形成・外科診療所	佐次田 保徳	名護市大南2-13-8	外・形外・皮	無
歯科口腔外科クリニック	金城　尚典	名護市城1-1-19	歯科・口腔外科	無
あしとみ泌尿器科クリニック	安次富　勝博	名護市宮里5-10-17	泌	無
クリニック和睦	新垣　義人	名護市大東1-15-6	内・外・精・心内	無
美ら海ハシイ産婦人科	森實　真由美	名護市大北5-3-4	婦・産	無
メンタルクリニック やんばる	古謝　淳	名護市字宇茂佐の森1-2-9	精・心内・神内	無
松原クリニック	小橋川　晃代	金武町字金武4231	内・皮	無
東村立診療所	宮城　辰志	東村字平良804	内・	無
大宜味村立診療所	金城　英與	大宜味村塩屋1306-62	内・消・児・心内	無

医療機関名	開設者名	住　　所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
KIN放射線治療・健診クリニック	梁　英樹	金武町字金武10897	内・眼・脳外・放	無

注　当該病院と同一の２次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	20 床

(別紙第２)

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1　研修の内容

1. 2023年 4月 18日（火）　沖縄県の CKD と栄養を考えるセミナー　～カリウム管理を含めて～
2. 2023年 6月 12日（月）　北部地域の新型コロナ感染症 5 類移行後の施設支援・医療提供体制
3. 2023年 9月 22日（金）　正しく痛みを取ってその人らしい療養を支える
4. 2023年 9月 23日（土）～9月 25日（月）　フィジカルアセスメント研修①
5. 2023年 9月 27日（水）　トータルコントロールを目指した喘息治療の潮流とは
6. 2023年 9月 29日（金）　がん化学療法をうける患者の看護
7. 2023年 9月 30日（土）～10月 2日（月）　フィジカルアセスメント研修②
8. 2023年 10月 6日（金）　心不全について
9. 2023年 11月 17日（金）　心不全（栄養管理）
10. 2023年 11月 18日（土）　緩和ケア研修会 2023
11. 2023年 12月 15日（金）心不全（リハビリ）
12. 2024年 3月 21日（木）　痛みのトータルケアセミナー

2　研修の実績

(1)　地域の医療従事者への実施回数	12回
(2)　(1)の合計研修者数	295人 （院内 94人　院外 201人）

注１　研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

注２　(2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3　研修の体制

(1)　研修プログラムの有無　(有)・無

(2)　研修委員会設置の有無　(有)・無

(3)　研修指導者

研修指導者氏名	職　種	診療科	役職等	臨床経験数	特記事項
[redacted]	医師	内科	院長	35年	
	医師	内科	消化器科長	29年	
	医師	内科	内視鏡センター長	37年	
	医師	内科		15年	臨床研修プログラム責任者
	医師	内科		8年	
	医師	内科		6年	
	医師	内科		5年	
	医師	内分泌代謝科	副院長	38年	
	医師	呼吸器・感染症科	呼吸器・感染症科長 医療連携統括部長	21年	臨床研修プログラム副責任者
	医師	呼吸器・感染症科		6年	
	医師	呼吸器・感染症科		5年	

研修指導者氏名	職　　種	診 療 科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
[redacted]	医師	呼吸器・感染症科		4年	
	医師	外科	副院長	35年	
	医師	外科	外科科長	24年	
	医師	外科	大腸肛門科科長	32年	
	医師	外科		20年	
	医師	外科		12年	
	医師	外科		20年	
	医師	外科		14年	
	医師	外科		4年	
	医師	整形外科	整形外科科長	28年	
	医師	整形外科	脊髄・脊椎科科長	31年	
	医師	整形外科		26年	
	医師	整形外科		14年	
	医師	リウマチ科	リウマチ科科長	34年	研修医レクチャー担当
	医師	検査科	検査科科長	38年	
	医師	放射線科	放射線科科長	42年	
	医師	皮膚科		12年	
	医師	心臓血管外科	心臓血管外科科長	25年	
	医師	心臓血管外科		8年	
	医師	循環器内科	循環器内科科長　心カテ室長	27年	
	医師	循環器内科		19年	
	医師	救急科	救急科長	16年	臨床研修プログラム副責任者
	医師	救急科		6年	
	医師	ＨＣＵ	ＨＣＵ室長	32年	
	医師	麻酔科	麻酔科科長	14年	

注　教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4　研修実施のための施設及び設備の概要

施　設　名	床　面　積	設　　備　　概　　要
会議室　　（本院） （循環器棟）	84.53㎡ 55.17㎡	（主な設備）電子カルテ　スクリーン　プロジェクター ワイヤレスアンプ　モニター　Web会議用パソコン、 WEBカメラ・マイク
病棟カンファレンスルーム	11.51㎡	（主な設備）電子カルテ、高性能モニター
救急室　　（本院）	90㎡	（主な設備）電子カルテ　シャーカステン　高性能モニター
手術室　　（本院） （循環器棟）	66㎡ 63.6㎡	（主な設備）電子カルテ　無影灯　手術台
リハビリ室（本院） （循環器棟）	340.81㎡ 168.82㎡	（主な設備）電子カルテ　訓練台　平行棒
教育・シミュレーション室	52.20㎡	（主な設備）医療用ベッド　電子カルテ　フィジカルアセスメントモデルphysiko　リトルアンBLSトレーナー/AEDトレーナー　静脈注射パット　装着式採血静注キットSASUKE　オムツ交換トレーニングモデル　ALS・挿管・吸引・経管栄養・褥瘡・口腔ケアシミュレータースクリーン　プロジェクター　メトローム　グリッターバグ（手洗いﾁｪｯｶｰ）

（別紙第３）

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	[redacted]
管理担当者氏名	[redacted]

諸記録内容		保管場所	分　類　方　法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方箋、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		看護部 診療情報課	年度別単位（1入院単位） ※保管の基本は電子カルテだが紙カルテ混在。
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	連携課	年度別単位
	救急医療の提供の実績	連携課	年度別単位
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	連携課	年度別単位
	閲覧実績	診療情報課	年度別単位
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	連携課	年度別単位

注　「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

（別紙第４）

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	[redacted]
閲覧担当者氏名	[redacted]
閲覧の求めに応じる場所	診療情報課
閲覧の手続の概要 診療記録等の開示については、当院の「開示に関する管理規定」に基づき、開示を進めていく。 尚、開示規定については別紙第9「諸記録等の開示に関する管理規定」を参照。	

前年度の総閲覧件数		44件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	44件

（別紙第５）

委　員　会　開　催　の　実　績

委員会の開催回数	４回

委員会における議論の概要

第１回　地域医療支援病院委員会

開催日時：令和５年６月６日（火）14：00～14：30

場　　所：北部地区医師会病院　２階会議室

①規定第７条審議事項に該当する議題について

・令和４年度（R4年４月～R5年３月）　地域医療支援病院実績報告

②質疑応答（意見交換会）

・救急搬送状況について

中部地区において救急搬送（救急車の出動要請）が増えつつあるなか、その要因のひとつに独居老人が受診の判断ができずに要請してしまうことに関連しているのではないか。北部の現状はどうなのかと質問があった。北部地区も独居老人の要請が徐々に増えている状況との報告あり。この件に対し、こういった相談は#7119が機能されているとだいぶ減らされる。他都道府県の実績でも不要な救急要請が少なくなると同時に転院搬送も少なくなれば救急隊への負担も減ると思われる。来年度は県も対応していく予定であるので、後は消防との連携になると説明がなされた。

・ヘリ搬送の内訳について

ドクターヘリとやんばるヘリの比率に関して質問あり。大体８割はやんばるヘリになると説明した。また、救急車で救急搬送される件数が地域の医療機関で多い場合は、地域での入院化率の増加に繋がる旨確認された。

・救急隊員の感染対策について

救急隊員の出動時の感染対策（防護服）が従来どおり行われているかと委員より質問あり。消防より、出動時の基本的にも防護マスク等は従来どおり行っており、コロナ等の感染が疑われる患者にはさらに防護服などしっかり対策していると説明がなされた。

第２回　地域医療支援病院委員会

開催日時：令和５年９月５日（火）14：30～15：00

場　　所：県立北部病院　２階会議室

①規定第７条審議事項に該当する議題について

・令和５年度（R5年４月～R5年７月）　地域医療支援病院実績報告

②質疑応答（意見交換会）

・皮膚科外来について

当院皮膚科外来の常勤医師が９月末にて退職となる為、今後の外来については週１回非常勤医にて対応。来年４月からは常勤医が再度来る予定との事で暫くの間皮膚科による入院対応が出来ない旨報告された。

・病院間転院搬送について

救急外来から別医療機関への転院搬送件数について、自家用車による搬送方法が１件ある事について確認があり、家族での搬送があった旨確認された。

また、転院搬送について、やんばるへり搬送による活用があるが、県立北部病院での利用があまり無いのは利用方法等の周知がされてないのではと確認された。医師会病院では救急医の判断にて要請している旨説明された。

・観光客の受診状況について

観光客の受診内訳について、今後わかれば参考にしたい旨確認された。

・紹介患者件数と紹介率について

初診患者の数的には紹介、逆紹介率が高い理由について確認があり、元のデータと確認し後日報告することとした。

・救急受診患者の内訳

かかりつけ医から救急車で来る患者が1割いることについて、県立北部病院も医師会病院も救急搬送数が増えている状況の中で、かかりつけ医からの搬送要請も増えてその影響で入院患者も増えているのではとの問いに、細かいデータは取っていないが、ある程度影響しているのは間違い無いとの話しであった。その他に入院患者が増えたことで重症者が増えたのではと確認がされたが比率的には変わらないことで説明された。

第3回　地域医療支援病院委員会

開催日時：令和5年12月5日（火）14：00～14：30

場　　所：北部地区医師会病院　2階会議室

①規定第7条審議事項に該当する議題について

・令和5年4月～10月　地域医療支援病院実績報告

②質疑応答（意見交換会）

・手術に関して

コロナによる診療制限が落ち着いたところで、手術を待っていた患者の手術を進めていったことや、進行が早いがん患者の手術を対応したことにより件数が増えたとの事だった。

・下り入院対象患者の医療度について

転院先として北部地域の対象となる慢性期療養病床は、もとぶ野毛病院や北山病院、宮里病院、勝山病院、かんな病院の5カ所となっている。療養型病床には看護必要度と似た医療度というのがあって、医療度2と3の患者で入院8割以上が加算の対象となっており、入院基本料も取れない状況となっている。急性期病床は早く病床を空けるため、転院を促進したいと思っても医療度が無い患者の転院受入れを断らざるを得ない状況となっていることへの理解を求めた。

医療度2・3でも糖尿病や頻回に喀痰吸引をしないといけない患者や褥瘡がある場合は医療度2になるので病床さえ空いていればいつでも転院して構わないが、全くなくて点滴だけとかの患者だと受入れのパーセンテージにて病床が空いていてもお断りすることがあることを両病院、連携課や事務長含め現状を情報提供した。当案件は全国の慢性期医療においても医療度2と3の患者で8割以上いないと入院基本料を取れないと追加して説明された。

当院でも医師への認識として状況を医局会等にて周知図る事確認した。

第４回　地域医療支援病院委員会

開催日時：令和６年３月５日（火）14：30～15：00

①規定第７条審議事項に該当する議題について

・令和５年４月～令和６年１月 地域医療支援病院実績報告

②質疑応答（意見交換会）

・救急車の搬送件数について

当院の救急車の搬送件数が増えているのも県立北部病院同じ傾向と感じる。

・入院前の統計について

介護施設からの入院件数が８%、県北では12%（542人）と両病院で差があるのは介護施設からの要因であるのか。医師会病院としては289人と少ない方ではない。関連して入院経路別割合でも医師会病院は救急からの入院率がR5年度51.3%と県立北部病院は72%の数である。医師会病院では一般外来のかかりつけ医からの紹介も多いのかとの質問。

想定されるのは予定手術や予定治療の患者が居ること、後は受診したら状態が良くなかったので即入院となった事例などが、それ以外からの入院に含まれているのではとの回答。

それで医師会病院は救急からの入院率が半々ぐらいになっている。結果として、かかりつけ医からの救急搬送件数の79%が入院となっている。

・紹介患者数と紹介率について

紹介患者数と紹介率を比較すると、明らかに県立北部病院と医師会病院とでは全体像としてかなり差があると感じる。

・共同利用施設の医療機器使用状況について

骨塩定量の検査件数が少なくなっているのは、紹介していた医院が機器高購入した理由により件数が減少となった。

・選定療養費について

紙面で案内した松坂地区の取り組みについて説明のうえ、医師会病院の運用についても確認。医師会病院でも同じく患者に説明のうえ入院を必要としない軽症の場合は選定療養費を徴収する運用が行われている旨説明された。利用者へのホームページや掲示物による広報を行っていることも確認された。

※令和6年6月26日（水）に行われた「公益社団法人　北部地区医師会　定時総会」にて、北部地区医師会病院の前年度の紹介・逆紹介、救急車搬送等の実績を報告。

注　委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

（別紙第６）

患 者 相 談 の 実 績

患者相談を行う場所	2階　連携課　患者支援室
主として患者相談を行った者 （複数回答可）	【医療相談室】 社会福祉士：[redacted] 退院支援看護師：[redacted] 緩和ケア認定看護師：[redacted] 【患者支援室】 看護師：[redacted]　緩和ケア認定看護師：[redacted] 社会福祉士主事：[redacted]
患者相談件数	8,219件

患者相談の概要

① 入退院支援室

・医療相談のべ件数　8,155 件　：

新規相談（1,695 件）継続相談（6,460 件）/ 入 院（6,833 件）外 来（1,322 件）

相談形態：訪問（560 件）来所（1,434 件）電話（7,122 件/電話対応数 13,611 回）

・相談内容：

経済的問題調整・援助（35 件）　病院・施設等への転院調整・援助（ 3,132 件）

在宅退院調整（ 2,530 件）　他機関紹介・連絡調整（ 1,052 件）

社会資源の活用相談・援助（ 1,373 件）　受診・入院相談・援助（ 125 件）

その他（ 13 件）　退院前カンファレンス（17 件）

・相談に基づき講じた対策

1）入院中の患者のリハビリ状況を家族に見学してもらい、退院後の方向性を検討するための機会を設けている。

2）事前に家屋状況の情報収集を行い、院内の多職種で在宅生活のイメージを仮定し、在宅退院に向けて、ご家族や院外の関係機関との連携を図る。

3）退院後、自宅での療養の中で多職種との関わりが必要な患者に対し、ケアマネージャーや訪問看護ステーションの看護師、ヘルパーなどの関係職種を集めた、「退院前カンファレンス」を調整し、患者や家族が安心して自宅での療養生活が送れるように取り組んでいる。

4）在宅退院を目指す患者に対し、ご家族に自宅内を撮影した写真を持参していただき、その写真を元に退院後の住宅環境を整える（手すりや段差等）ためのアドバイスを行っている。

5）退院支援看護師と相談員を各病棟に配置し、退院に伴う課題（医療、リハビリ、栄養、社会資源等）に対して、各専門的観点から連携しチームで退院支援に関わった。

6）各病棟の朝の申し送りおよび整形外科回診に相談員も同行し、患者の病態把握と今後の方向性についての情報提供を図り、退院調整の促進を行っている。

7）個々の相談援助技術の技術向上を図るため、地域で開催される勉強会や研修会、情報交換会等へ参加。知り得た情報を他の相談員と共有し、日々の業務に活かせるよう取り組んでいる。

②患者支援室　窓口

・相談のべ件数 28 件

・相談形態：電話（22 件）　面談（5 件）　その他(1 件)

・相談内容：苦情（8 件）診療内容（6 件）医療相談（4 件）がん相談（3 件）その他（7 件）

③ 意見箱

・投書件数 36 件：

・内容：苦情（14 件）お礼（14 件）要望（8 件）※複数選択有

・患者相談窓口、意見箱の内容に基づき講じた対策：

1) 毎週 1 回行われる患者サポートカンファレンスにて、相談内容の報告と評価、経過報告を行い、その詳細を月 1 回行われる医療安全委員会の場で報告し、情報共有を図った。

2) 患者サポートカンファレンスで検討した対策が、当該部署で実行できるようカンファレンスメンバーがサポートを行っている。

3) 意見箱へ寄せられたご意見とその回答について、病院 1 階の「意見箱回答欄」にて掲示し、来院された方が誰でも内容を確認できるようにしている。

注　患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

（別紙第７）

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1　病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	

注　医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2　果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有

・情報発信の方法、内容等の概要

地域の医療・福祉機関ならびに住民へ広報および啓蒙活動

1、外来診療表

・毎月、北部地域の医療・福祉施設および中南部の急性期病院へ外来診療表を98施設へ発送。

・ホームページ上にて、毎月の外来診療表および休診、代診に関する情報を公開。

2，病院広報誌

・当院の取り組みやお知らせ等の情報を掲載した「病院広報誌」を毎月、北部地域の医療・福祉施設へ発送。

3，「地域医療支援病院の役割」についての啓蒙活動

・院内インフォメーションおよび当院ホームページにて地域医療支援病院の役割について公開。

・当院への受診歴、紹介状の無い患者の「受診」に関する問合わせに対し、電話・受付窓口にて地域医療支援病院としての役割を説明し、近隣かかりつけ医（診療所・クリニック）を案内している。（診療所・クリニックの電話番号またはポストカードの配布）

※ただし、緊急性が疑われる病態に関しては、医師、看護師へ確認を図っている。

3　退院調整部門

退院調整部門の有無	有

・退院調整部門の概要

連携課　医療ソーシャルワーカー5名、退院調整看護師 3名

患者支援部門の体制を強化するため、平成30年1月に「患者支援室」として室内を改装し、入院前と退院時の支援を行うスタッフとして、退院調整看護師を同室へ配置。

がんに関する相談も受けているため、緩和ケア認定看護師を2名配置し、がん患者や家族の支援を行っている。

①入院3日以内に、退院困難な要因を抽出し、退院支援計画書を作成。

患者に関する情報を家族や地域の医療介護福祉機関から収集するなど、早期的な退院に向けての介入を図っている。

②病棟回診、病棟別リハビリカンファレンスにて、患者の病態・リハビリの状況等を把握し、医師、看護師、リハビリスタッフ、栄養課と連携して退院調整を図っている。

（対策例は、別紙第6参照）

4　地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定	有

・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容

・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

1.大腿骨頸部骨折地域医療連携パス

内容：平成20年7月大腿骨頸部骨折の患者が、急性期病院での手術や術後短期の離床目的リハビリテーションを終えた後、回復期リハビリテーション病床のある連携病院と「連携パス用紙」を用いて患者情報を共有し、社会復帰・在宅療養が出来るよう支援する連携パス。

急性期病院（旧計画管理病院）：沖縄県立北部病院、北部地区医師会病院

回復期リハビリテーション病床（旧連携病院）：勝山病院、宮里病院、かんな病院
北部地区医師会病院

現状：参加5施設が持ち回りで、年3回のパス委員会を企画・開催することとなっているが、令和5年度は、令和5年10月26日と令和6年2月2日の2回開催。

パス委員会の中では、パス利用実績の報告と施設間での情報共有を主に、よりよい連携が図れるよう、意見交換を行っている。

当院での計画書による連携パスは実施できていない。

2.北部保健医療圏域　胃瘻連携パス

内容：平成20年8月、北部福祉保健所、北部保健医療圏内の急性期病院、回復期・慢性期病院、診療所・施設等が協力して策定した「胃瘻」の北部地域保健医療圏域限定の連携パス。胃瘻の造設・交換、管理に関する対応を、北部地域で統一した書式を用いて運用している。

現状：北部地域に急性期病院が2施設しかない中、沖縄県立北部病院の専門医不足により、胃瘻の造設・交換の対応を北部地区医師会病院が主に実施している状況。

胃瘻の交換に関しては、各療養病院での対応が普及。

3.北部医療圏域糖尿病地域連携パス

内容：平成20年8月、北部福祉保健所、専門医療機関、かかりつけ医、市町村が協力して策定した、糖尿病の地域連携クリティカルパス。糖尿病の発症予防から診断、治療、ケアに対する保健、医療の分野が連携を図り、北部医療圏における一次予防、二次予防、三次予防の標準化を図ることを目的に運用している。

患者の病状に応じて、市町村、かかりつけ医、専門病院の各機関の役割を定めている。

現状：当院の内分泌代謝科常勤医1名で糖尿病の再診患者の診療を主に行っている。

4.がん地域連携パス（地域がん診療病院）県統一パス(大腸がん)

内容：がん患者さんに安心、安全で質の高い医療を提供するため、かかりつけ医（一般病院、診療所等）と専門医（がん診療連携拠点病院、専門病院）、看護師、薬剤師等が、患者さんの診療計画、検査結果、治療経過を共有するためのツールとして活用されることを目的に沖縄県統一がん地域連携クリティカルパスの運用が開始された。

現状：当院では平成26年10月より「大腸がん」のクリティカルパス運用に「かかりつけ医」として参加。「専門医」である琉球大学病院との連携を図り、患者さんの診療を行っている。